

2 事業活動と環境活動効果, 負荷の状況(2004年度)

用語説明

詳細については用語集を参照ください。

LNG(液化天然ガス)

メタン(CH₄), エタン(C₂H₆)を主成分とする天然ガスを、マイナス162℃に冷却して液体にしたもの。

原子燃料

燃えやすいウラン235と燃えにくいウラン238からなるウラン燃料のこと。また、プルサーマルを実施する場合には使用するMOX燃料もある。

再生可能エネルギー

化石燃料やウラン燃料のような資源と異なり枯渇する心配がない太陽熱・光, 水力, 風力, 地熱, バイオマスなどの繰り返し使えるエネルギーのこと。

所内電力量

発電所において、発電所を運転するために必要な設備(ポンプ, ファン, 照明など)で消費する電力のこと。

送配電ロス(率)

発電所から送電した電力のうち、送電線・配電線で失われる電力が占める割合のこと。

- ・ウラン
- ・電気自動車

資源投入量

発電用燃料

火力

石炭 383万トン

重油 41万kl

原油 16万kl

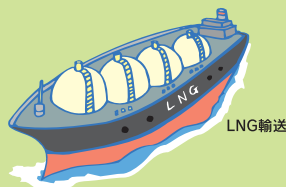
LNG① 230万トン

軽油 2.3万kl

原子力

原子燃料① 112トン*

※: ウラン①重量



水

発電用水 552万トン

車両用燃料

ガソリン・軽油 3.6千kl



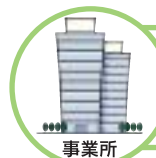
総走行距離*
29百万km

※: 電気自動車①を含む

消耗品等

コピー用紙購入量 1,106トン

水使用量 527千トン



従業員数
13,505人

事業活動



火力発電 282億kWh
原子力発電 397億kWh



【再生可能エネルギー①】

水力発電 47億kWh
地熱発電 15億kWh
風力・太陽光発電 0.06億kWh

他社からの
購入電力量
143億kWh

揚水用電力量
▲3億kWh

所内電力量①
▲32億kWh

送配電ロス① ▲47億kWh

お客さまへの販売電力量 802億kWh

自家消費

オフィス使用電力量 1.1億kWh
建設用使用電力量 ほか 0.7億kWh



環境負荷量

環境活動

地球温暖化①防止

CO₂①削減効果^{*1} 4,800万トン-CO₂
 SF₆①削減効果^{*2} 55万トン-CO₂
 森林等によるCO₂吸収 1.3万トン-CO₂

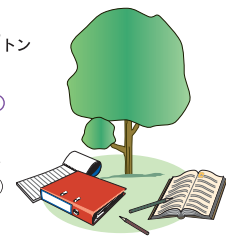
公害防止

SO_x①削減効果^{*3} 4.6万トン
 NO_x①削減効果^{*4} 1.6万トン
 排水負荷削減効果^{*5} 727トン

廃棄物対策

産廃①リサイクル量
59万トン

低レベル放射性廃棄物①
減容量
1,489本
(200ℓドラム缶相当)



[効果を支援]

- グリーン調達①
- 環境関連研究
- 環境損傷対応
- 環境活動管理
- 社会活動

環境活動
コスト①
投資 117億円
費用 463億円

社用車低公害化

CO₂削減効果^{*6} 89トン-CO₂

古紙①^{*}リサイクル量
2,083トン

^{*}：コピー用紙のほか、新聞、雑誌、ダンボール、機密文書を含む。

雨水活用量

28千トン

CO₂排出量 2,660万トン-CO₂^{*}

自家消費
電力 CO₂排出量 5.9万トン-CO₂

^{*}：他社購入電力量分を含む

CH₄①排出量 0.2万トン-CO₂

N₂O①排出量 6.1万トン-CO₂

HFC①排出量 0.02万トン-CO₂

SF₆排出量 3.7万トン-CO₂

SO_x排出量 1.6万トン

NO_x排出量 3.1万トン

排水量 249万トン
(うち 排水負荷量 47トン
COD①排出量6トン)

産廃処分量 5.3万トン

低レベル放射性
廃棄物増加量 3,582本
(200ℓドラム缶相当)

CO₂排出量 0.9万トン-CO₂

古紙処分量 0トン

上・中水①使用量 499千トン

※1：発電・電力購入による効果は、原子力、水力、新エネ、LNG等による電力量をLNG以外の火力発電電力量で代替する場合を、設備の効率向上については、1990年度の熱効率や送配電ロス率をベースラインとして算出。
 ※2：点検・撤去時に機器に充填されているSF₆の回収を行わなかった場合をベースラインとして算出。
 ※3：発電所において脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※4：発電所において脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。
 ※5：発電所において排水処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。
 ※6：クリーンエネルギー車、低燃費車の導入を行わなかった場合をベースラインとして算出。

用語説明

詳細については用語集を参照ください。

SO_x(硫黄酸化物)
 二酸化硫黄(SO₂)、無水硫酸(SO₃)などの総称。化石燃料の燃焼時に、燃料中の硫黄分が酸化されて発生する。

NO_x(窒素酸化物)
 一酸化窒素(NO)、二酸化窒素(NO₂)などの総称。窒素を含む燃料の燃焼のほか、燃焼時に空気中の窒素が酸化されることにより発生する。

産廃(産業廃棄物)
 事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチックなど20種類の廃棄物をいう。

低レベル放射性廃棄物
 原子力発電所などから発生する古い作業着、手袋、交換した機器など、放射性物質の濃度が低い廃棄物のこと。

- ・地球温暖化
- ・CO₂(二酸化炭素)
- ・SF₆(六フッ化硫黄)
- ・CH₄(メタン)
- ・N₂O(一酸化二窒素)
- ・HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- ・COD
- ・グリーン調達
- ・環境活動コスト
- ・古紙
- ・中水